

プロフェッショナルコース カリキュラム一覧

1章 受講前に学ぶこと

- 【1-1】 本カリキュラムで学べること
- 【1-2】 ChatGPTの使い方
- 【1-3】 チャプロの会員登録
- 【1-4】 Myプロンプトの登録方法
- 【1-5】 プロンプトの配布方法
- 【1-6】 API概要と連携方法
- 【1-7】 AIチャットの使い方
- 【1-8】 拡張機能でできること
- 【1-9】 簡単な使い方

2章 AIリテラシー講座

- 【2-1】 文章生成AI
- 【2-2】 画像生成AI
- 【2-3】 音声生成AI
- 【2-4】 映像生成AI
- 【2-5】 文章生成AIツール
- 【2-6】 画像生成AIツール
- 【2-7】 音声生成AIツール
- 【2-8】 映像生成AIツール
- 【2-9】 作業が生成AIに置き換わる
- 【2-10】 生成AIを活用するメリット
- 【2-11】 生成AIの未来と可能性

3章 生成AI活用方法講座

- 【3-1】 生成AIの得意不得意を理解する
- 【3-2】 コンテンツ制作
- 【3-3】 手順や工程の文章化
- 【3-4】 思考のアシスト
- 【3-5】 カスタマーサポート
- 【3-6】 教育や学習
- 【3-7】 プログラミング
- 【3-8】 規約やルールの作成確認

4章 セキュリティ対策講座

- 【4-1】 著作権の問題
- 【4-2】 プライバシー

【4-3】 ハルシネーション

5章 プロンプトエンジニア養成講座

- 【5-1】 プロンプトを作る
- 【5-2-1】 配布プロンプトの使用方法
- 【5-2-2】 スレッドを共有する
- 【5-3】 8+1の公式
- 【5-4】 記号・書式によるテキストの指示
- 【5-5】 文章構造と構成要素の指示
- 【5-6】 実行指示を作る
- 【5-7】 変数を組み込む
- 【5-8】 段落変数
- 【5-9】 前提条件を作る
- 【5-10】 単語を改善する
- 【5-11】 出力形式を指定する
- 【5-12】 出力フォーマットを決める
- 【5-13】 スタイルとトーン（文体指定）
- 【5-14】 読み手ペルソナ
- 【5-15】 書き手ペルソナ
- 【5-16】 文章ルール
- 【5-17】 補足
- 【5-18】 自動改善プロンプト
- 【5-19】 プロンプト作成練習：お題を決める
- 【5-20】 プロンプト作成練習：プロンプト構築の考え方
- 【5-21】 プロンプト作成練習：プロンプトを公開する

6章 特殊プロンプト構築講座

- 【6-1】 直列実行と並列実行
- 【6-2】 オートプロンプト
- 【6-3】 オートプロンプトの直列実行

7章 チェーンプロンプト講座

- 【7-1】 基本操作と画面構成
- 【7-2】 ノードの設定
- 【7-3】 入力ノード
- 【7-4】 実行ノード
- 【7-5】 抜き出しノード
- 【7-6】 変数を活用したプロンプト
- 【7-7】 合体変数の活用方法
- 【7-8】 分割ノード
- 【7-9】 結合ノード

- 【7-10】 ループプロンプト
- 【7-11】 インデント分割と多重変数
- 【7-12】 出力ノード
- 【7-13】 その他の機能

8章 画像生成AI講座

- 【8-1】 画像生成AIについて
- 【8-2】 DALL-E：プロンプト作成
- 【8-3】 DALL-E：画像の修正
- 【8-4】 Midjourney：コマンド操作
- 【8-5】 Midjourney：プロンプト作成
- 【8-6】 MidJourney：パラメータ設定
- 【8-7】 Adobe Firefly:基本操作
- 【8-8】 Adobe Firefly:設定
- 【8-9】 Adobe Firefly:編集
- 【8-10】 ImageFX：概要と登録方法
- 【8-11】 ImageFX：基本の操作
- 【8-12】 ImageFX：パラメータ設定
- 【8-13】 Flux

9章 GPTs構築講座

- 【9-1】 GPTsについて
- 【9-2】 ブラウジング機能①
- 【9-3】 ブラウジング機能②
- 【9-4】 ブラウジング機能③
- 【9-5】 画像生成
- 【9-6】 コードインタープリター（画像処理）
- 【9-7】 コードインタープリター（計算）
- 【9-8】 コードインタープリター（データ分析）
- 【9-9】 ファイル保存・検索
- 【9-10】 ファンクションコーリング

プロフェッショナルコース 詳細

1章 受講前に学ぶこと	【1-1】 本カリキュラムで学べること	本教材では生成AI、特にChatGPTの指示出しにおけるプロンプト制作の重要性を学びます。「プロンプト8+1の公式」を理解し適用することで、AIに対する指示がより明確になり、具体的かつ効果的な回答を得るための方法を学んでいただけます。また、生成AIがもたらす業務の自動化への理解を深め、PDCAサイクルの既存の職務における影響や、上流工程での役割についての理解を促進します。
-------------	---------------------	---

【1-2】 ChatGPTの使い方	本セクションでは、ChatGPTの基本的な仕組みや操作方法、利用条件などを学び、無料版と有料版の性能差、パソコン版とスマホ版の違いを理解し、実際にChatGPTでの質問や音声入力の活用法を習得します。使用法を習うことで、さまざまな状況や用途に合わせて効果的にChatGPTを活用するスキルを身に付けることが可能です。
【1-3】 チャプロの会員登録	本セクションでは、チャプロとChatGPTを連携させるgoogle拡張機能の設定方法を解説しています。この設定が完了すれば、ChatGPTのスレッドから自分が作成したプロンプトを呼び出したり、過去に生成した画像を保持したり、様々な便利機能が使えるようになります。
【1-4】 Myプロンプトの登録方法	本セクションでは、作成したプロンプトをチャプロのMyプロンプトに登録する方法について解説します。チャプロにプロンプトを登録することで、プロンプトを管理しやすくなるだけでなく、毎回変更する言葉（変数）を設定でき、効率的にプロンプトを活用できます。
【1-5】 プロンプトの配布方法	本講義では、チャプロを使ってプロンプトを他の人と共有するための配布コードの利用方法について学びます。配布コードを発行・受け取る手順を通じて、自分のプロンプトを他者に提供したり、他者のプロンプトを自分のMyプロンプトに追加する方法を習得します。また、配布コードを活用して生成されたプロンプトを自由に編集できる点についても説明します。
【1-6】 API概要と連携方法	本セクションでは、生成AIのAPIを利用した連携方法について学びます。APIキーの取得やチャプロでの活用方法、Web版との違いを理解することで、生成AIを柔軟に利用するための基礎知識を身につけます。さらに、利用料金の仕組みやAPI版の特徴を知ること、より効率的な生成AIの活用を目指します。
【1-7】 AIチャットの使い方	本セクションでは、チャプロで使うことができるAIチャットの使い方を解説します。AIチャットを使うことで、ChatGPTだけでなくGeminiやClaudeも使用することができます。また、スレッドをフォルダでまとめる方法やMyプロンプトを使用する方法も紹介します。
【1-8】 拡張機能でできること	本セクションでは、Googleの拡張機能で使うことができる6つの機能について解説します。この拡張機能を使いこなすことで、ChatGPTの画面上からプロンプトを使ったり、スレッドのイラストや文章をチャプロ上で管理したりなど様々なことができるようになります。
【1-9】 簡単な使い方	このセクションでは、ChatGPTとの効果的な対話を通じて、回答精度を向上させるための追加の指示方法について学びます。視聴者は、情報が不足している、過剰である、或いは実践的でない場合に対応するための質問の仕方とその例を身につけることができます。

2章 AIリテラシー講座

【2-1】 文章生成AI	本講義では、文章生成AIの基本的な定義とその仕組み、多様な機能を理解します。さらに、AIが直面するハルシネーションやプロンプトインジェクションといった課題に対する対応策を学び、AIの可能性と限界を正しく把握することを目指します。受講者の皆さんには、AI活用の現場での実践的な知識を身に付けていただきます。
【2-2】 画像生成AI	この講義では、画像生成AIの基本概念、具体的な活用事例、そしてその技術的な仕組みについて解説します。さらに、画像生成AIを利用する上で重要な著作権の扱いについても学びます。これらの知識を通じて、画像生成AIの可能性と新しい課題を理解することを目的としています。
【2-3】 音声生成AI	この講義では、音声生成AIの基本機能や活用事例について詳しく学びます。さらに、音声生成AIの倫理的な問題・リスクを理解し、具体的な対策方法も紹介します。受講後には、音声生成AIを効果的かつ安全に活用するための知識を得ることが目標です。
【2-4】 映像生成AI	本セクションでは、映像生成AIの基礎知識やその仕組みを学び、業務での活用可能性について考察します。映像生成AIを用いて新たな映像を生成する方法や既存の動画加工、アバターの生成など、映像生成AIの多様な機能を理解することを目的としています。将来的な技術発展を見据え、基本的な理解を深めることで、より効果的な活用を目指します。
【2-5】 文章生成AIツール	この講義では、ChatGPT、Gemini、Claudeの3つの主要な文章生成AIツールの機能と特徴について学びます。各ツールの独自の強みを理解し、自らの用途に最適なAIを選ぶための知識を身につけることを目指します。参加者の皆さんには、これらのツールの使用感を体験し、自分に合ったツールを見つける良い機会となるでしょう。
【2-6】 画像生成AIツール	この講義では、代表的な画像生成AIツールのDALL-E3、Midjourney、Stable Diffusion、Adobe Firefly、ImageFX、Fluxについてその特徴と活用法を紹介します。各ツールの得意な生成画像の傾向を理解し、用途に応じた選び方を学ぶことで、AIを活用した画像生成の可能性を探ります。初心者からプロフェッショナルまで幅広くサポートするこれらのツールを通じて、効率的なAI画像生成の技術を身につけましょう。
【2-7】 音声生成AIツール	本講義では、音声生成AIツールの特徴と活用事例について学びます。音声クローンや環境音の生成から、自然な音声や楽曲の生成まで、様々なクリエイティブな用途におけるAIの可能性を探ります。受講後は実際に無料枠で各ツールを試し、AIの実力と改善点を体験しながら理解を深めていただくことを目的としています。

	【2-8】映像生成AIツール	本セッションでは、急速に進化する映像生成AI技術の現状と将来像に焦点を当てます。OpenAIの「SORA」を含む最新の生成ツールを取り上げ、その可能性と現状の課題を共有し、エンターテインメントやビジネスなど多様な分野での応用の展望を探ります。具体的な生成例を通じて、皆さんの理解を深め、今後の技術の活用に役立つ知識を獲得することを目指します。
	【2-9】作業が生成AIに置き換わる	生成AIが私たちの働き方をどのように変革し、将来の職業に求められるスキルにどのような影響を与えるかを学びます。特に、PDCAサイクルにおける生成AIの活用が業務プロセスを効率化し、創造的な仕事に集中できる環境を如何に整えるかに焦点を当てます。さらに、生成AIの進化に伴って新たに求められる職業や人材像についても詳しく探っていきます。
	【2-10】生成AIを活用するメリット	この講義では、生成AIを導入するメリットと、導入しない場合のリスクについて探ります。生成AIの活用により、生産性向上やワークライフバランスの改善、学習効率の向上、家庭生活の効率化といった様々な利点を理解していただくことが目的です。また、安全に生成AIを活用するためのセキュリティ対策にも触れ、競争力を失わないための重要性を考察します。
	【2-11】生成AIの未来と可能性	この講義では「生成AIの未来と可能性」について、創造活動や教育、キャリアなど生活のさまざまな分野における影響を探ります。生成AIがもたらす変革を理解し、どのようにこれらの変化に対応し価値を生み出すかを考える機会を提供します。AIの時代に備えるため、技術との効果的な協働や人間特有の能力の発揮についても考察します。
	【3-1】生成AIの得意不得意を理解する	生成AIの特性を理解し、得意分野と活用シーンを効果的に活用することで、業務の自動化や創造性の向上を目指します。ここでは、ChatGPTの得意とする領域と、それらを最大限に利用するためのアプローチについて学びます。
3章 生成AI活用方法講座	【3-2】コンテンツ制作	このセッションでは、生成AIを用いて様々な種類の文書や文章などのコンテンツを生成する方法を学びます。具体的には、ビジネス文書の作成、話し言葉からキーワードを抽出し、それを文書化するテクニックなど、実際の業務に応用可能なAIの使用法について解説します。
	【3-3】手順や工程の文章化	このセッションでは、ChatGPTを使って様々なプロセスを細かく整理する方法について説明していきます。難しいタスクや複雑な課題についても、細かく分かりやすい手順や工程を作成できるようになることを目指します。
	【3-4】思考のアシスト	本セッションでは、生成AIを利用してアイデア出しや問題解決、意思決定を手助けする方法を提案します。生成AIとのやり取りを通じて、思考過程をアシストし、より良い計画立案や意思決定を行う手法を学びます。

	【3-5】 カスタマーサポート	自動応答システムは、FAQ、予約システム、カスタマーサポート、メール対応などの分野でChatGPTの有効活用を目的としています。プロファイリング技術を駆使することで、任意の質問に対して、より精密な回答を提供する方法を習得します。
	【3-6】 教育や学習	このセクションでは、ChatGPTや生成AIを教育や学習に利用する方法に焦点を当てます。具体的には、プログラミング教育、数学問題解説、言語学習といった得意分野を活用することが可能です。さらに、生成AIの教育アドバイスの精度を向上させるために、詳細な情報を提供する重要性についても触れています。
	【3-7】 プログラミング	このセクションでは、プログラミングや日常の作業を効率化するために生成AIを活用する方法に焦点を当てています。データベースの設計、システム構築、サンプルデータの作成など、プログラミングに関わる一連のタスクを生成AIを使用して自動化する手法が紹介されます。
	【3-8】 規約やルールの作成確認	このセクションでは、規約やルールの作成におけるChatGPTの活用法を学びます。ここでは英会話スクールの入会者のための利用規約作成を例にして、ChatGPTがどう文言を生成し、追加要求に応じて内容を調整するかを確認します。
4章 セキュリティ対策講座	【4-1】 著作権の問題	本講義では、生成AIにおける著作権の概念、関連する問題点、そして違反を避けるための具体的な対策について詳しく学びます。著作権の基本的な理解から始め、AIと著作権の複雑な関係性を解説します。さらに、実際の利用シーンでどのように倫理的かつ責任ある形で生成AIを活用するかについても触れていきます。
	【4-2】 プライバシー	本講義では、生成AIにおけるプライバシーの問題、個人情報保護法の概念、そして違反を避けるための具体的な対策について詳しく学びます。プライバシーの基本的な理解から、AIを利用する際の音声・画像・映像データの扱いに関する注意点についても説明していきます。
	【4-3】 ハルシネーション	本講義では、生成AIにおけるハルシネーション現象について詳しく解説します。ハルシネーションの原因である不完全な学習データ、文脈理解の限界、推論能力の制約を探り、具体的な対策としてプロンプトの工夫や情報確認の重要性を学びます。AIの出力を批判的に評価し、信頼性の高い情報を得るための基礎知識を身につけましょう。
5章 プロンプトエンジニア養成講座	【5-1】 プロンプトを作る	この講座では、生成AIを効果的に活用するためのプロンプト作成技術を学びます。特に「8+1の公式」を使った構築方法を通じて、適切な指示を整理し質の高いアウトプットを得る手法を習得します。本講義を通じて、AIとの対話を楽しみながら新たな可能性を開拓していきましょう。

【5-2-1】配布プロンプトの使用方法	この講義では、生成AIのプロンプトを使いこなすために配布プロンプトの基本的な使用方法を学びます。プロンプト管理システム「チャプロ」を使い、配布されたプロンプトの受け取りから実行までのプロセスを詳しく解説します。受け取ったプロンプトを実際に使ってみることで、これからの学習をスムーズに進められるようにサポートします。
【5-2-2】スレッドを共有する	この講義では、AIとの効果的なコミュニケーション手法の一環として、「スレッド」の共有手順について学びます。スレッドとはAIとの会話の流れをまとめたもので、これを適切に活用することで過去の会話にアクセスしたり、新しいテーマで会話を始めたりできます。実際にスレッドを共有する方法を通して、生成AIを活用するスキルをさらに高めましょう。
【5-3】8+1の公式	この講義では、「8+1の公式」と呼ばれるプロンプト設計の基礎を詳しく解説します。この公式を習得すると、生成AIから自分の意図に合った質の高い出力を得られるようになります。プロンプトエンジニアリングの第一歩として、実践を通じてその効果を体験してみましょう。
【5-4】記号・書式によるテキストの指示	AIのプロンプトを効果的に作るためには、記号や書式を巧みに活用することが鍵となります。これにより、AIが指示の意図を的確に理解し、質の高い成果物を生成できるようになります。今回の講義では、特に重要な記号の名前や読み方、使い方について学び、実践を通してその基礎を身につけていきましょう。
【5-5】文章構造と構成要素の指示	本講義では、「文章構造と構成要素の指示方法」に焦点を当て、効果的で明確なプロンプトの作成方法を学びます。AIが意図を正確に理解し、期待通りの出力を生成できるように、文章の組み立て方や必要な情報の伝え方を具体的に解説します。さらに、章・節・項といった構成要素を利用し、論理的で読みやすい文章作成を目指します。
【5-6】実行指示を作る	この講義では、AIに具体的な指示を伝えるための「実行指示」の重要性とその構造について学びます。「8+1の公式」を利用して命令文を段落として独立させることで、指示の明確化とプロンプト全体の整理を図ります。また、プロンプト設計時の『#実行指示:』の活用方法を実践します。
【5-7】変数を組み込む	本講義では、生成AIを活用する際に重要な「変数」について学びます。変数を使用することで、プロンプトの内容を効率的に管理し、異なる出力を得る柔軟性が大幅に向上します。また、変数の設定や命名方法、公式フォーマットにおける変数の配置についても解説し、多様な組み合わせを試す実践課題を通じて、AIの活用スキルを高めます。

【5-8】段落変数	本講義では、生成AIのプロンプト設計における「段落変数」の活用法を学びます。段落変数はルールやフォーマットの指示を一括管理し、プロンプトを簡潔かつ明確に整理する方法を提供します。「通常変数」との違いを理解し、プロンプト設計の質を向上させる技術を習得しましょう
【5-9】前提条件を作る	本講義では、AIに対するプロンプトの効果を最大限に引き出すための「前提条件」の設定方法について学びます。前提条件にはタイトル、依頼者条件、前提情報、目的と目標が含まれており、これを適切に設定することでAIからよりの確なサポートを得られます。さらに、講義では実践課題を通じて、前提条件を活用した具体的なプロンプト作成に挑戦します。
【5-10】単語を改善する	本講義では、生成AIのプロンプトの質を高めるために、曖昧な表現を具体的な言葉に置き換える方法を学びます。形容詞や名詞、副詞、動詞の使い方を工夫することで、AIの出力がよりの確になるポイントを紹介します。実践を通じて、プロンプト指示を効果的に改善する手順を体験し、生成される文章のクオリティを向上させることを目指します。
【5-11】出力形式を指定する	本講義では、生成AIの出力形式の選択がアウトプットの明確さにどのように影響するかを解説します。箇条書き、表、チェックリスト、ステップバイステップなど、目的に応じた多様な形式を活用し、情報を整理する方法を学びます。実践を通じて、具体的な出力形式を選ぶスキルを身につけ、業務や作業に役立てましょう。
【5-12】出力フォーマットを決める	本講義では、AIの出力を安定させるための「出力フォーマット」設定方法について学びます。フォーマットは、生成物のテンプレートとして機能し、具体的な構造や内容を明確に指示することで、目的に適した成果物を生成します。実践課題を通じて、フォーマットの調整方法やブレを防ぐ技術も習得し、安定したアウトプットを得るためのスキルを向上させましょう。
【5-13】スタイルとトーン（文体指定）	本講義では、生成AIを活用した文体指定の方法を学びます。文体指定により、読む人に適した文章を作成し、情報の伝達をより効果的にする技術を身につけます。また、文章のスタイルやトーンを設定することで、メッセージの印象や伝わり方を調整し、独自の個性や表現力を加える手法を実践します。
【5-14】読み手ペルソナ	本講義では、AIの文章生成における「読み手ペルソナ」の設定方法とその重要性について学びます。読み手ペルソナは、AIがよりターゲットに寄り添った内容を生成するための基盤として機能します。具体的な読み手の属性や興味を設定し、AIの出力を効果的に調整する手法を習得しましょう。

【5-15】 書き手ペルソナ	本講義では、AIを活用した文章生成の際に重要な「書き手ペルソナ」の設定について学びます。ペルソナ設定により、AIにどんな人物として書かせるかを明確化することで、一貫性のある視点とオリジナリティを持たせた文章生成が可能になります。具体例を通じて、書き手ペルソナをどのように活用するかを深く理解し、実際に応用できるスキルを身につけましょう。
【5-16】 文章ルール	本講義では、AIを活用した文章作成において重要な「文章ルール」の設定方法を学びます。文章ルールはAIに細かい出力条件を示すための段落変数であり、具体的で明確なルールの設定が効率的な運用を可能にします。ルールの命名や箇条書きでの整理方法についても解説し、実際のプロンプト作成に役立てていただけます。
【5-17】 補足	本講義では、AIの生成プロセスで不要な情報を省き、必要な情報を効率的に得るための「補足」の技術について学びます。具体的な補足例や最適な配置方法を通して、AI出力の質を向上させる方法を理解します。講義の最後では、各自の補足のアイデアを共有し、新たな視点や応用法を模索しましょう。
【5-18】 自動改善プロンプト	本講義では、AIプロンプトを自動的に改善する方法を学びます。自作のプロンプトをブラッシュアップし、AIのフィードバックを活用してプロンプトの精度を高める技術を習得します。プロンプト改善の際には、AIの指摘を吟味し、重要な部分を改良することで、より実用的なプロンプトを構築する力を養います。
【5-19】 プロンプト作成練習：お題を決める	本講義では、プロンプト作成技術を実践的に学び、自分の職業や業務内容に適したプロンプトを構築するスキルを養います。8+1の公式に基づき、実際のシーンを想定した5つのプロンプトを作成する過程を通じて、プロンプト作成の手法を理解します。自由な発想で楽しく取り組むことを通じて、生成AIの活用能力を高めましょう。
【5-20】 プロンプト作成練習：プロンプト構築の考え方	本講義では、プロンプト構築の基本的な考え方を再確認し、AIを効果的に活用するための指示作成について学びます。8+1公式を道具箱に見立て、必要な要素を選びながらシンプルかつ柔軟にプロンプトを設計する方法を探ります。また、AIにどのようなアウトプットを期待するかを明確にし、実行指示の具体的な組み立てと調整を通じて、期待通りの成果物を得るための戦略を提供します。
【5-21】 プロンプト作成練習：プロンプトを公開する	本講義では、チャプロへのプロンプトの登録方法と公開手順について学びます。プロンプトをチャプロに登録することで、カテゴリごとの整理や他のユーザーとの共有が可能になります。また、変数の設定や置換コードの利用法についても詳しく説明し、実践を通じてその活用法を理解することを目指します。

6章 特殊プロンプト構築講座	【6-1】 直列実行と並列実行	この講義では、生成AIにおけるプロンプトの実行方法として、直列実行と並列実行について解説します。並列実行は同じプロンプトを複数回同時に実行する方法で、直列実行は変数を利用してプロンプトを順番に実行する方法です。さらに、直列実行と並列実行を組み合わせることで、より多様な出力を効率的に得ることができます。
	【6-2】 オートプロンプト	この講義では、拡張機能を使うことで利用できる「オートプロンプト」の使い方と作成方法について学びます。オートプロンプトを活用することで、1回の操作で複数のプロンプトを送信することができますようになります。
	【6-3】 オートプロンプトの直列実行	この講義では、生成AIにおけるプロンプトの実行方法として、直列実行と並列実行について解説します。並列実行は同じプロンプトを複数回同時に実行する方法で、直列実行は変数を利用してプロンプトを順番に実行する方法です。さらに、直列実行と並列実行を組み合わせることで、より多様な出力を効率的に得ることができます。
7章 チェーンプロンプト講座	【7-1】 基本操作と画面構成	本講義では、複数のプロンプトを連結して複雑な処理を一度に実行できる「チェーンプロンプト」機能について学びます。具体的には、チェーンプロンプトの定義、表示方法、基本的な操作方法、共有機能、そしてシステムログの活用方法などを詳細に解説します。この機能をマスターすることで、AIツール「チャプロ」を駆使し、効率的かつ高度なタスク実行を実現できるようになるでしょう。
	【7-2】 ノードの設定	本講義では、生成AIの機能を最大限に活用するための「チェーンプロンプト」の基本とその操作について学びます。チェーンプロンプトは、実行ノード、データ操作ノード、加工ノード、出力ノードの四種類のノードを組み合わせ、生成AIの処理を段階的に進めることで、高性能な成果物を生み出す技術です。さらに、ノードの追加や管理方法、設定や共有機能についても詳細に解説し、実際の操作を通じて理解を深めます。
	【7-3】 入力ノード	本講義では、チェーンプロンプトにおける入力ノードの役割と設定方法について学びます。入力ノードの基本概念、全体実行と該当実行の違い、入力項目の設定・編集方法について理解を深め、効果的なチェーンプロンプトの設計と操作のスキルを身につけます。「自由入力」「プルダウン」「チェックボックス」などの入力形式を利用して、柔軟な入力設定と実行が可能になる手法を学びます。
	【7-4】 実行ノード	本講義では、生成AIを活用した実行ノードの操作方法を学びます。具体的には、アシスタントAPIを用いた高度な機能や画像生成AIを使ったプロンプトの応用について掘り下げます。これを通じて、AIの柔軟な活用方法を実践的に理解していくことを目指します。

【7-5】 抜き出しノード	本講義では、データ操作の中でも特に「抜き出しノード」に焦点を当て、テキストデータから特定の部分を抽出する方法について学びます。抜き出しノードの基本的な使い方から、コードブロック、指定文字での囲い、箇条書き、インデント構造、最初と最後の行の削除といった様々な抜き出し方法を、具体的な例を用いて詳細に解説します。
【7-6】 変数を活用したプロンプト	本講義では、チェーンプロンプトを活用する際に必須となる変数の基本概念を学びます。変数を用いることで、一つの命令文の中で複数箇所の内容を一括で変更し、効率的かつ柔軟に生成AIを利用する方法を身につけます。具体例を通じて、変数の初期設定から実際のプロンプトでの使い方までを理解し、実践的な応用力を養います。
【7-7】 合体変数の活用方法	本セクションでは、生成AI活用における「合体変数」の操作方法を学びます。合体変数は一つの変数に複数の値を持たせ、プロンプトに柔軟性を持たせる技術であり、これを活用することで効率的に生成AIの出力を制御します。チェーンプロンプト内での具体的な例を通じて、合体変数の設定とその実行結果を深く理解していただくことが目的です。
【7-8】 分割ノード	本講義では、データ操作の「分割ノード」に焦点を当て、通常出力を指定した形式で合体変数に変換する方法を学びます。具体的には、分割ノードの概要、箇条書き、JSON、行分割といった3種類の分割方法、分割ノードの設定方法、そして実際の活用例を通して、その効果と使い方を理解します。
【7-9】 結合ノード	本講義では、加工ノードの一種である「結合ノード」に焦点を当て、複数の出力内容を結合して出力する方法について学びます。具体的には、結合ノードの概要、設定方法（入力編集、項目の追加）、そして実際の活用例を通して、その効果と使い方を理解します。
【7-10】 ループプロンプト	本講義では、実行ノードの一つである「ループプロンプト」について学びます。ループプロンプトは、これまでの出力内容を次のプロンプトに組み込んで実行できる強力な機能であり、合体変数や多重変数と組み合わせて活用します。ループプロンプトの仕組み、作成手順、出力確認方法、そして通常プロンプトとの違い、さらには活用例を通して、その効果と使い方を深く理解します。
【7-11】 インデント分割と多重変数	本講義では、複数の変数を扱う合体変数と多重変数の概念について学びます。特に、これらの変数を用いたループプロンプトによって複雑な文章生成を効率化し、それを活用することで大規模な文章でも整合性を保ちながら生成できる方法を解説します。この技術を駆使することで、長編のシナリオや小説などにおいても高品質なプロンプト生成が可能となります。

	【7-12】出力ノード	本講義では、生成AIの出力を確定するための終了ノードの活用とAPIを介した外部連携について学びます。終了ノードはテキストや画像の最終的な出力をまとめる役割を持ち、APIによる外部サービスとの連携を見据えたノードとなっています。
	【7-13】その他の機能	本講義では、「その他機能」として「選択ノード」と「合体結合ノード」について学びます。 選択ノードは、複数の出力結果から一つを選択する機能であり、手動または自動で選択できます。合体結合ノードは、複数の合体変数を結合して新しい合体変数を作成する機能です。 これらの機能を活用することで、チェンプロンプトの出力結果をさらに柔軟に制御、加工することが可能になります。
8章 画像生成AI講座	【8-1】画像生成AIについて	本セクションでは、画像生成AI技術の概要とその実用性について学びます。具体例としてキャラクター、背景、抽象アートなどの生成画像を紹介し、SEO対策や広告、社内資料などの業務活用方法を検討します。また、主要な画像生成ツールの特徴と使い方についても詳しく解説します。
	【8-2】DALL-E：プロンプト作成	本講義では、画像生成AI「DALL-E3」を活用して高品質な画像を安定して生成するためのプロンプト設計方法を学びます。プロンプトの公式として、画像サイズ、詳細説明、スタイルと雰囲気などの3つの要素を使用し、具体的且つ詳細に表現することで、生成される画像のブレを減少させます。また、GPTを利用してプロンプトを効率的に構築する手法についても解説します。
	【8-3】DALL-E：画像の修正	本講義では、生成AI「DALL-E3」を用いた画像修正技術について学びます。全体修正と部分修正の2種類の方法を紹介し、それぞれの適用方法とその特性について実例を交えて解説します。さらに、実践課題を通じて、画像の画風変更やキャラクター修正の技術を身につけることを目指します。
	【8-4】Midjourney：コマンド操作	本講義では、生成AIツールであるMidjourneyの基本的な使い方、特にコマンドの重要性について解説します。スラッシュから始まるコマンドの例として、画像生成に使用される「imagine」コマンドなどの使い方を紹介します。Midjourneyの操作に必要な基本知識を身につけることが目的です。
	【8-5】Midjourney：プロンプト作成	本セクションでは、生成AIミッドジャーニーのプロンプト作成の基礎を学びます。7つの要素を組み合わせてプロンプトを構成し、それに基づいて画像生成を実践します。具体的な例を交えながら、プロンプトの修正方法についても詳しく解説します。

【8-6】 MidJourney：パラメータ設定	本セッションでは、MidJourneyで利用できる様々なオプションパラメーターについて詳しく解説します。アスペクト比やカオス度、画像生成の速度調整、否定プロンプト、そして画像の重みなど、約20種類のパラメーターの主要なものを紹介します。これらの設定を駆使して、生成される画像の品質やスタイルを自由にカスタマイズする方法を学びます。
【8-7】 Adobe Firefly:基本操作	本講義では、Adobe Fireflyの基本的な使い方について詳しく解説します。画面構成やプロンプトの入力方法、画面構成、出力された画像のダウンロード方法などを中心に説明します。さらに、実際に画像を生成・ダウンロードを行うことで実践的にAdobeFireflyを利用できるようになります。
【8-8】 Adobe Firefly:設定	本講義では、Adobe Fireflyで画像を生成する際の設定項目とそれぞれの設定方法について説明していきます。各設定について学ぶことで、より精度が高く、イメージに合った画像が生成できるようになることを目指します。
【8-9】 Adobe Firefly:編集	本講義では、Adobe Fireflyで画像を生成する際の編集方法について説明していきます。編集機能について学ぶことで、よりクリエイティブな画像編集ができるようになることを目指します。
【8-10】 ImageFX：概要と登録方法	この講義では、Googleの最新画像生成AIツール「ImageFX」の概要、特徴、登録方法を学びます。Imagen 3を搭載したImageFXは、高精細な画像生成能力と高度なプロンプト理解力を備え、Googleアカウントがあれば無料で利用可能です。講義では、ImageFXの技術的な側面に加え、商用利用の注意点やプロンプト制限、登録手順についても解説します。
【8-11】 ImageFX：基本の操作	この講義では、画像生成AIツール「ImageFX」の基本的な操作方法を学びます。プロンプト入力から画像生成、編集、保存、共有、そして便利な機能であるエクспレッシブチップスやリミックス機能の使い方まで、実践的な手順を具体例を交えて解説します。実際に画像を生成しながら、ImageFXの様々な機能を活用する方法を習得しましょう。
【8-12】 ImageFX：パラメータ設定	この講義では、画像生成AIツール「ImageFX」のパラメータ設定について解説します。シード値、アスペクト比、モデルの3つの設定項目を理解し、生成画像の品質や特徴を制御する方法を学びます。具体的な例を通して、各パラメータが画像生成にどう影響するかを深く掘り下げていきます。

	【8-13】 Flux	この講義では、画像生成AIツール「Flux」について解説していきます。Fluxは、KreaやX（Twitter）の生成AIツールであるGrok上で利用することができます。今回は、Kreaでの利用方法を中心に説明することで、細かな設定なども反映した画像生成ができるようになることを目指しています。
9章 GPTs構築講座	【9-1】 GPTsについて	本講義では、GPTsの概要とその設定方法について学びます。GPTsを作成することによって、高度なプロンプトを毎回作成するという手間を省けるようになります。また、具体例として日本語を英語に翻訳をするGPTsを中心に紹介し、このGPTsを作成できるスキルを習得します。
	【9-2】 ブラウジング機能①	本講義では、GPTsの機能の1つであるブラウジング機能について説明していきます。この機能を活用することで、最新情報を反映した精度の高い回答を生成することが可能になります。具体例として、リアルタイムで最新のニュースを提供するGPTsの活用方法を紹介し、この機能を使いこなすためのスキルを身につけます。
	【9-3】 ブラウジング機能②	本講義では、前回に引き続き、GPTsのブラウジング機能について行います。今回は、論文検索を行うGPTsを例にブラウジング機能を用いたGPTsを作成するスキルをさらに身に付けられるように練習していきます。
	【9-4】 ブラウジング機能③	本講義では、前回に引き続きGPTsのブラウジング機能について学びます。今回は、競合分析を行うGPTsを例にブラウジング機能を用いたGPTsを作成するスキルをさらに身に付けられるように練習していきます。本セクションでは、前回に引き続きGPTsのブラウジング機能について学びます。今回は、競合分析を行うGPTsを例にブラウジング機能を用いたGPTsを作成するスキルをさらに身に付けられるように練習していきます。
	【9-5】 画像生成	本講義では、GPTsでできる画像生成について説明していきます。GPTsで画像生成をするために必要な設定について理解し、画像生成ができるGPTsを作成できるスキルを身に付けられるように練習していきます。
	【9-6】 コードインタープリター（画像処理）	本講義では、コードインタープリターについて説明していきます。この機能を使用することで、自然言語で指示を出すだけでPythonコードを実行してくれるようになります。コードインタープリターを用いることで様々なことができるようになりますが、今回は、画像処理に焦点を当てて紹介します。

	【9-7】コードインタプリター（計算）	本講義では、コードインタプリターの機能を使ってできる計算について説明していきます。複雑な問題であっても、正確な解答を出力するためにはコードインタプリターが必要になることを学びます。また、具体例として、基本的な統計の値を計算してくれるGPTsの作成方法を紹介し、このGPTsを作成するためのスキルを身に着けます。
	【9-8】コードインタプリター（データ分析）	本講義では、コードインタプリターを用いてできるデータ分析について説明していきます。データ分析として、ファイルの読み込み、ファイルの作成、グラフの作成ができることを学びます。また、具体例としてグラフを作成するGPTsの作成方法を紹介し、このGPTsを作成するためのスキルを身に着けます。
	【9-9】ファイル保存・検索	本講義では、ファイルの保存・検索を行うことができるナレッジ機能について説明していきます。ナレッジ機能を使うことで、ユーザーが指定したファイルを参考に回答を生成できるようになります。また、具体例としてカスタマーサポートをするGPTsを紹介します。
	【9-10】ファンクションコーリング	本講義では、Function calling（ファンクションコーリング）について説明していきます。また、Function callingを理解するために重要な関数やAPIについても説明していきます。さらに、天気を教えてくれるGPTsやGoogleスライドを作成するGPTsも紹介します。